

2021 年 7 月 27 日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社

## ファイル無害化ソリューション「Votiro」がメールセキュリティ製品「m-FILTER」と連携 — メールへの添付ファイルが無害化し、自治体ガイドラインに完全準拠 —

テクマトリックス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:由利 孝、以下「テクマトリックス」)は、テクマトリックスが国内正規代理店であるイスラエル Votiro Cybersec Ltd.(本社:イスラエル テルアビブ、CEO Aviv Graf、以下「Votiro 社」)のファイル無害化ソリューション「Votiro Disarmer」に、デジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下デジタルアーツ社)のメールセキュリティ製品「m-FILTER」が本年 11 月から対応することを発表いたします。このソリューションにより、「m-FILTER」と「Votiro Disarmer」が自動連携し、メールへの添付ファイルを利用した標的型メール攻撃を、自治体ガイドラインに準拠し無害化することが可能になります。

昨今、ランサムウェアによる被害に関するニュースが絶え間なく紙面を賑わせており、その頻度もさることながら、被害の大きさも驚愕に値します。記憶に新しいマルウェア「EMOTET」の流行など、その勢いは留まることを知りません。

また、警察庁が発表した「令和 2 年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」によると、国内外で政府機関を標的としたサイバー攻撃は激しさを増しており、ランサムウェアによる被害も深刻化・手口の悪質化が進んでいると報告されています。データ暗号化のみならず、窃取を敢行し、対価を支払わなければ当該データを公開するという二重恐喝(ダブルエクストーション)を行う悪質なケースも認められています。

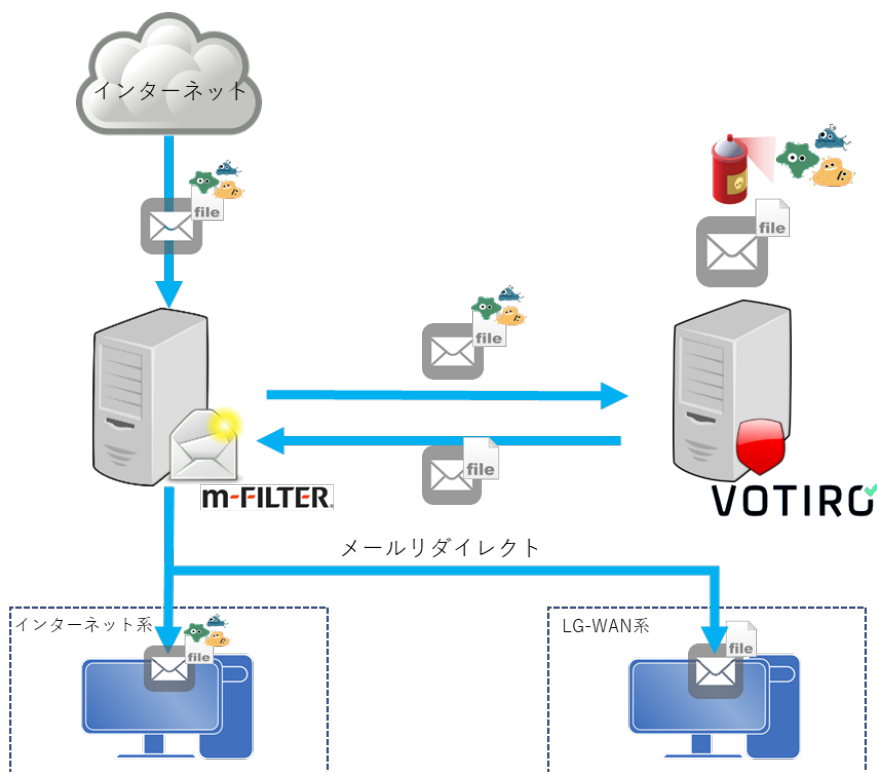
ランサムウェアをはじめとするマルウェアの侵入経路は様々ですが、ファイルセキュリティにおいても、マクロの除去だけでは、昨今、既に脅威を取り除いたと言えない状況です。

このような状況を鑑み、Votiro 社国内正規販売代理店であるテクマトリックス及びデジタルアーツ社は、「m-FILTER」の添付ファイル無害化機能をさらに強化し、2020 年 12 月に改定された総務省「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」で、メールに添付されたファイルは「ファイルを一旦分解した上で危険因子を除去した後、ファイルを再構築し、分解前と同様なファイル形式に復元する」というファイル無害化の方針に準拠させるため、パートナーシップを結び、政府機関や地方自治体をはじめとする公共機関向けに、メールへの添付ファイルに付着する脅威を無害化・無効化し、分離された LG-WAN 系ネットワークでも安全にメールを受信できる無害化ソリューションを提供することにいたしました。

### <Votiro Disarmer for m-FILTER ソリューション概要>

テクマトリックス取り扱いのファイル無害ソリューション製品「Votiro Disarmer」は、Votiro 社が開発・販売を行うファイルセキュリティ製品です。分離ネットワーク環境下にファイルを持ち込む際のセキュリティソリューションとして様々なソリューションと組み合わせることが可能で、中央省庁や地方自治体において多くの導入実績があります。「Votiro Disarmer for m-FILTER」は、この「Votiro Disarmer」と国内導入実績トップクラスのメールセキュリティ製品であるデジタルアーツの「m-FILTER」との連携を可能にするためにリリースされる製品で、本ライセンスは、テクマトリックスが提供しデジタルアーツ社が自治体等公共機関向けに販売いたします。受信した添付ファイルを「m-FILTER」より API を利用して「Votiro Disarmer for m-FILTER」へ渡し、無害化処理を実施した後、「m-FILTER」へ無害化されたメールを送付します。この処理により、メールに添付されたファイルは、マルウェアレスなファイルに再構成されておりますので、利用者は安全に分離されたネットワークで安全に添付ファイルを受信することができます。

<Votiro Disarmer for m-FILTER と m-FILTER の連携イメージ図 >



<本ソリューションのリリース日>

2021年11月予定

※本ソリューションは、テクマトリックスが提供しデジタルアーツ社が自治体等公共機関向けに販売いたします。

<本ソリューションの紹介ホームページと関連資料>

ホームページ:<https://www.techmatrix.co.jp/product/votiro-disarmer/m-filter.html>

ダウンロード資料:<https://techmatrix-nws.jp/public/application/add/1254>

<価格>

・価格は500ライセンスで1年間/1,225,000円(税別)となります。詳しくはお問合せください。

※上記価格には、デジタルアーツの m-FILTER ライセンス (Adapter、オプション含む)、OS、仮想基盤やハードウェア及びこれら製品に関する保守費用は含まれておりません。

※Votiro Disarmer for m-FILTER はサブスクリプション契約となりますので保守サービスも付帯します。

※Votiro の連携可能なバージョンは、Ver.8.4 となります。

※m-FILTER で連携可能なバージョンは、Ver.5 となります。

## ■デジタルアーツ株式会社について

デジタルアーツ株式会社は、「より便利な、より快適な、より安全なインターネットライフに貢献していく」を企業理念として、Webメール・ファイルを中心とする情報セキュリティソリューションを企業・公共(官公庁・学校)・家庭向けに展開する国産セキュリティソフトウェアメーカーです。

1998年に国産初のWebフィルタリングソフトを世に送り出し、外部攻撃対策や内部情報漏洩対策を実現する情報セキュリティ製品を提供しています。国内自社開発の強みを生かし、製品の企画・開発・販売・サポートまでを一貫して自社で行い、プロダクトの根幹を支える独自のWebフィルタリングデータベースと、世界27の国と地域で特許を取得した技術力を基に、未知の脅威から顧客を守るセキュリティ製品の提供を目指しています。

## ■Votiro Cybersec Ltd.について

Votiro社は、数多くの賞を受賞しているサイバーセキュリティカンパニーです。そのミッションは、企業や公共機関のデジタルトランスフォーメーションの変革スピードを落とすことなく対策可能なサイバーセキュリティソリューションを提供するというものです。Votiro社が、特許を取得している次世代CDRテクノロジーは、全世界で500社以上に導入され、その使いやすさとすぐれた機能によって、ユーザーに無害で安全なファイルを提供することを可能にしています。Votiro社は、米国、シンガポール、イスラエルに拠点があります。

Votiro社は、GartnerのCool Vendorに選出されています。また、国際標準の情報テクノロジーのセキュリティ評価におけるCommon Criteria(ISO/IEC15408)の認定を取得しています。

## ■テクマトリックス株式会社について

テクマトリックス(東証一部:3762)は、クラウドコンピューティング時代に技術革新をもたらす情報基盤技術のインテグレーションを提供する「情報基盤事業」と、ソフトウェア技術を駆使し、顧客の抱える問題領域におけるベストプラクティスを実装したアプリケーションの提供を行なう「アプリケーション・サービス事業」を提供しています。「情報基盤事業」分野では、独自の目利き力を活かし、北米を中心に高い技術力、競争力、成長力をもつ次世代ネットワーク、セキュリティ、ストレージ等の製品やサービスを見極め、単なる製品販売にとどまらない高付加価値なフルラインのサービスをお届けしています。

<https://www.techmatrix.co.jp>

<サービス導入に関するお問い合わせ先>

テクマトリックス株式会社 ネットワークセキュリティ事業部  
インテグレーションビジネス推進室 インテグレーション営業課  
E-mail:[votiro-sales@techmatrix.co.jp](mailto:votiro-sales@techmatrix.co.jp) TEL:03-4405-7815

<本プレスリリースに関する報道関係の方のお問い合わせ先>

テクマトリックス株式会社 ネットワークセキュリティ事業部  
マーケティング 担当:高嶋  
E-mail:[takashima@techmatrix.co.jp](mailto:takashima@techmatrix.co.jp) TEL:03-4405-7860

\*本原稿に記載されている社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。

\*本内容に記載の情報は、2021年7月現在の情報になります。

以上